

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	34° 5' 12"	
				経度	134° 26' 57"	
藍高大橋 (フリガナ) アイカオハシ	町道高川原27号線	名西郡石井町高川原字高川原				
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
石井町	2016.9.7	河川	有	一般道	-	無

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)

		点検者 (株)環境防災		点検責任者 梯 義文		
点検時に記録				措置後に記録		
部材名	判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等が分かるように記載)	措置後の判定区分	変状の種類	措置及び判定実施年月日
上部構造	主桁	II	ひびわれ、遊離石灰	写真1~3、主桁01,02,06		
	横桁	II	ひびわれ	写真4、横桁02		
	床版	II	ひびわれ	写真5、床版03		
下部構造	II	ひびわれ、剥離	写真6~8、下部工01,02			
支承部	I					
その他	II	欠損、舗装の異常、凹凸、ひびわれ、土砂詰まり	写真9~15、落橋防止システム、路面、取合道路、地覆			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I~IV)

点検時に記録		措置後に記録	
(判定区分) II	(所見等) 主桁、PC定着部にひびわれが見られる。横桁、床版にひびわれが見られる。下部構造にひびわれ、部分的な剥離が見られる。	(再判定区分)	(再判定実施年月日)

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

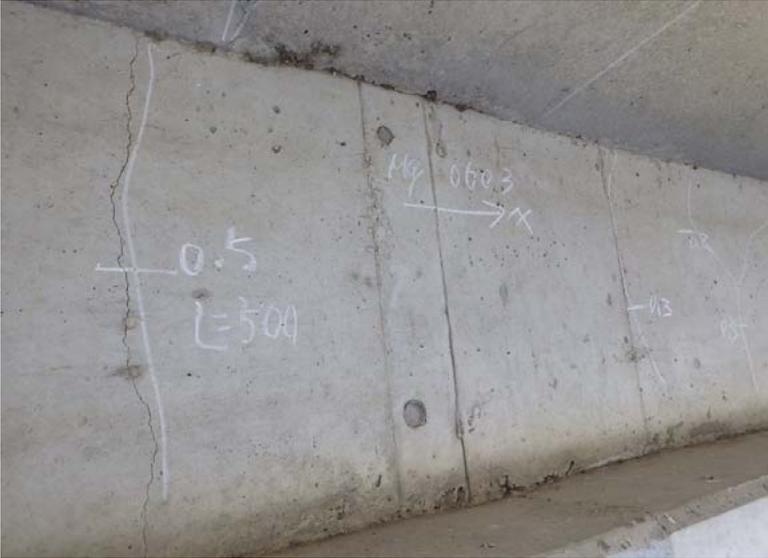
架設年次	橋長	幅員	起点		終点
1998年	55m	11.40m			

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真(損傷状況)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載の

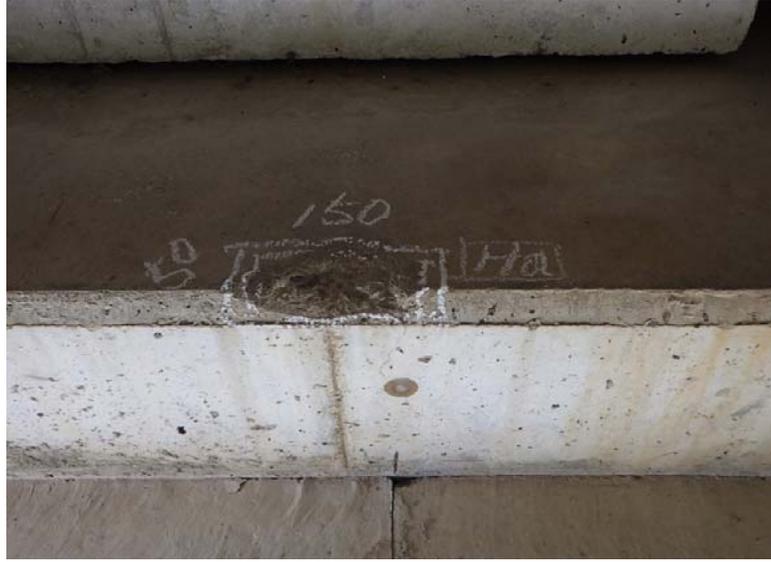
○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

<p>上部構造(主桁01)【判定区分: Ⅱ】</p> <p>写真1</p> 	<p>上部構造(主桁02)【判定区分: Ⅱ】</p> <p>写真2</p> 
<p>上部構造(主桁06)【判定区分: Ⅱ】</p> <p>写真3</p> 	<p>上部構造(横桁02)【判定区分: Ⅱ】</p> <p>写真4</p> 

状況写真(損傷状況)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載の

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

上部構造(床版03)【判定区分: Ⅱ】	下部構造(下部工01)【判定区分: Ⅱ】
<p data-bbox="114 518 190 550">写真5</p> 	<p data-bbox="1126 518 1202 550">写真6</p> 
下部構造(下部工01)【判定区分: Ⅱ】	下部構造(下部工02)【判定区分: Ⅱ】
<p data-bbox="114 1168 190 1200">写真7</p> 	<p data-bbox="1126 1168 1202 1200">写真8</p> 

状況写真(損傷状況)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載の

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

<p>写真9</p> <p>その他(落橋防止システム)【判定区分: Ⅱ】</p> 	<p>写真10</p> <p>その他(路面)【判定区分: Ⅱ】</p> 
<p>写真11</p> <p>その他(路面)【判定区分: Ⅱ】</p> 	<p>写真12</p> <p>その他(取合道路)【判定区分: Ⅱ】</p> 

状況写真(損傷状況)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載の

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

<p>写真13</p>	<p>写真14</p>
<p>その他(地覆)【判定区分: Ⅱ】</p> 	<p>その他(伸縮装置)【判定区分: Ⅱ】</p> 
<p>写真15</p>	<p>【判定区分: 】</p>
<p>その他(排水ます)【判定区分: Ⅱ】</p> 	